

第4学年の保護者の皆様

苫小牧市立明野小学校長 田中 雅子

令和6年度苫小牧市統一学力検査の結果等について

盛夏の候、保護者の皆様におかれましては、ますます御清栄のことと拝察申し上げます。

また、日頃から本校の教育活動に対しまして、御理解と御協力をいただき感謝申し上げます。

さて、4月18日（木）に実施しました苫小牧市統一学力検査の個人票（結果）につきましては、過日、お子さんを通して、各御家庭に配付したところですが、このほど本校の結果と考察がまとまりましたので、次のとおりお知らせします。

記

1 検査の概要

(1) 実施日

令和6年4月18日（木）

(2) 調査対象

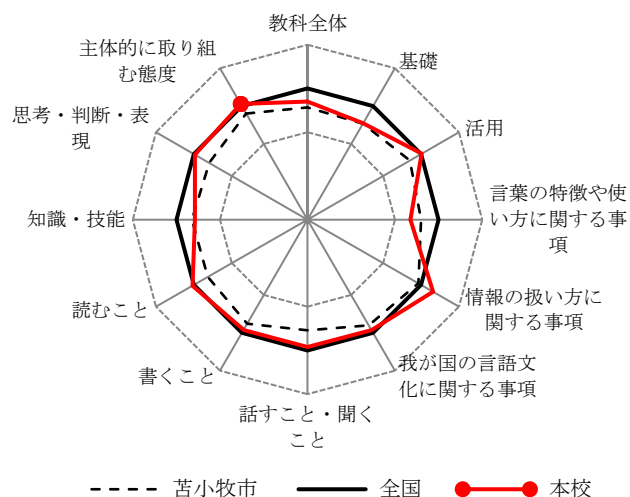
市内小学校第4学年

(3) 検査内容等

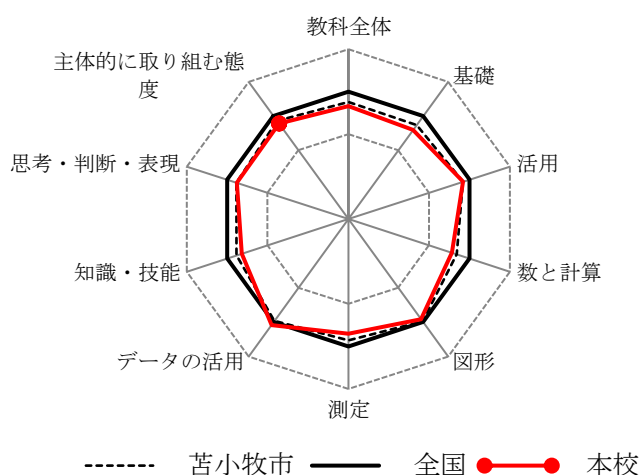
- ① 国語科及び算数科の2教科の学力検査を実施（出題範囲は前学年の学習内容）
- ② 標準学力調査（目標準拠評価方式）を実施

2 本校の結果と考察

(1) 国語科



(2) 算数科



【考察】

- ◎ 4年生の国語の結果は、全国平均とほぼ同程度で、おおむね良好な状況です。
- ◎ 領域では、「情報の扱い方に関する事項」の正答率がやや高い傾向にあります。
- ▲ 観点「知識・技能」に課題が見られ、基礎的な問題ができていない状況です。

【考察】

- ◎ 4年生の算数の結果は、目標値と比較して同等の結果でしたあるといえます。
- ▲ 問題の内容については、「わり算」と「時刻と時間」に課題があります。
- ▲ 解答形式については、「記述」式の問題に課題が見られます。

○ 課題の見られた学習内容については、学び直しを行ったり、授業の中で類似問題を取り扱ったりするなど、基礎・基本の定着に向けた取組を行います。

○ 学習内容や児童の実態に応じて、習熟度別学習やICT機器を有効活用した学習を取り入れ児童一人一人の学力がより定着するよう指導方法を工夫していきます。

※レーダーチャート図は、各カテゴリー別における正答率の全国との比較（全国平均を50とした場合の標準スコアで比較）です。

第5学年の保護者の皆様

苫小牧市立明野小学校長 田中 雅子

令和6年度苫小牧市統一学力検査の結果等について

盛夏の候、保護者の皆様におかれましては、ますます御清栄のことと拝察申し上げます。

また、日頃から本校の教育活動に対しまして、御理解と御協力をいただき感謝申し上げます。

さて、4月18日（木）に実施しました苫小牧市統一学力検査の個人票（結果）につきましては、過日、お子さんを通して、各御家庭に配付したところですが、このほど本校の結果と考察がまとまりましたので、次のとおりお知らせします。

記

1 検査の概要

(1) 実施日

令和6年4月18日（木）

(2) 調査対象

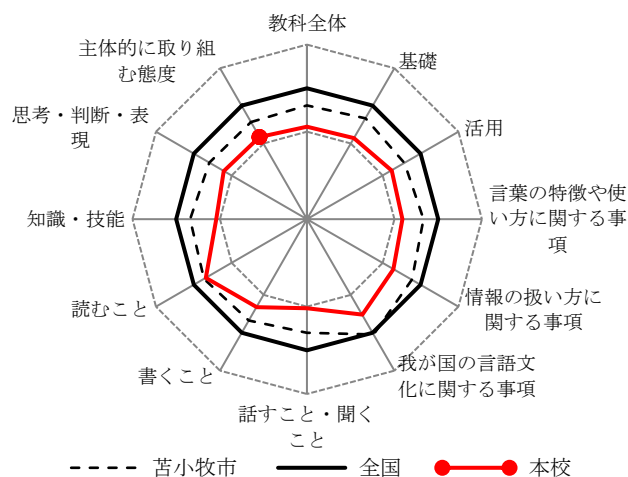
市内小学校第5学年

(3) 検査内容等

- ① 国語科及び算数科の2教科の学力検査を実施（出題範囲は前学年の学習内容）
- ② 標準学力調査（目標準拠評価方式）を実施

2 本校の結果と考察

(1) 国語科



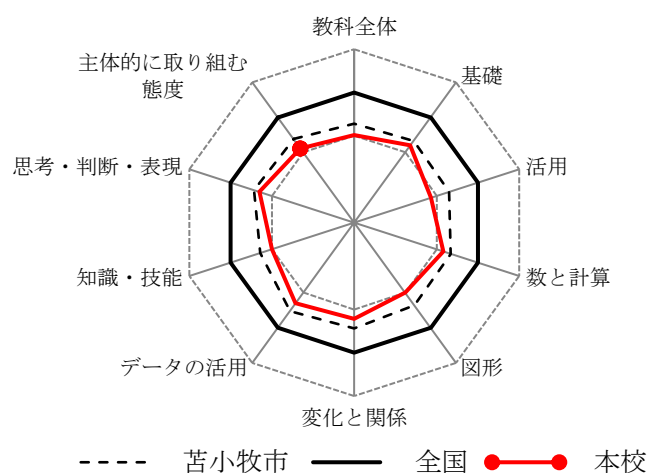
【考察】

▲5年生の国語の結果は、全国平均を下回り、課題があるといえます。

◎領域「読むこと」の問題の正答率は、目標値とほぼ同等でした。

▲「言葉の特徴や使い方に関する事項」、観点「思考・判断・表現」課題が見られます。

(2) 算数科



【考察】

▲5年生の算数の結果は、全国平均を下回り、課題があるといえます。

◎内容「四則や（ ）の混じった計算の仕方、分配法則」の問題の正答率が目標値を上回っています。

▲解答形式については、「記述」式の問題の正答率が低く、文字を用いた説明の仕方に課題が見られます。

○課題の見られた学習内容については、学び直しを行ったり、授業の中で類似問題を取り扱ったりするなど、基礎・基本の定着に向けた取組を行います。

○学習内容や児童の実態に応じて、習熟度別学習やICT機器を有効活用した学習を取り入れ児童一人一人の学力がより定着するよう指導方法を工夫していきます。

※レーダーチャート図は、各カテゴリー別における正答率の全国との比較（全国平均を50とした場合の標準スコアで比較）です。

第6学年の保護者の皆様

苫小牧市立明野小学校長 田中 雅子

令和6年度苫小牧市統一学力検査の結果等について

盛夏の候、保護者の皆様におかれましては、ますます御清栄のことと拝察申し上げます。

また、日頃から本校の教育活動に対しまして、御理解と御協力をいただき感謝申し上げます。

さて、4月11日（木）に実施しました苫小牧市統一学力検査の個人票（結果）につきましては、過日、お子さんを通して、各御家庭に配付したところですが、このほど本校の結果と考察がまとまりましたので、次のとおりお知らせします。

記

1 検査の概要

(1) 実施日

令和6年4月11日（木）

(2) 調査対象

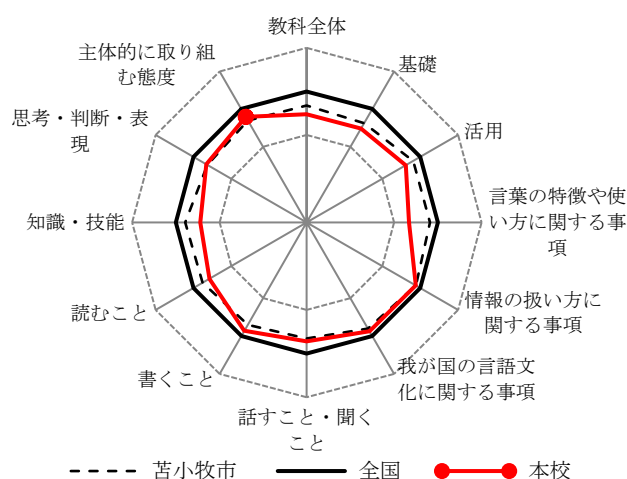
市内小学校第6学年

(3) 検査内容等

- ① 国語科及び算数科の2教科の学力検査を実施（出題範囲は前学年の学習内容）
- ② 標準学力調査（目標準拠評価方式）を実施

2 本校の結果と考察

(1) 国語科



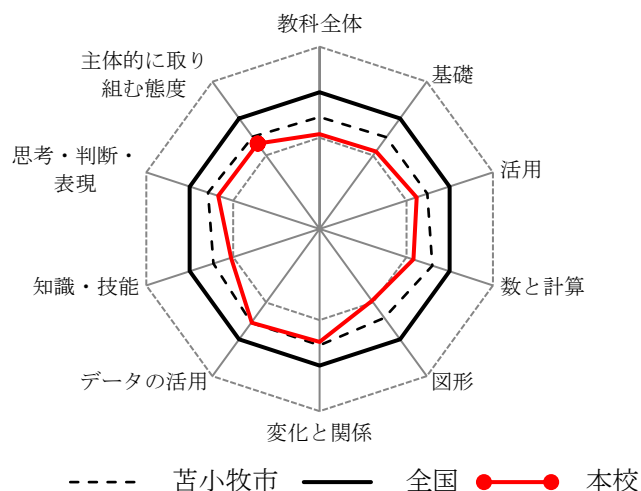
【考察】

◎6年生の国語の結果は、目標値と同等の正答率でした。

◎領域「情報の扱い方の事項」については、目標値を大きく上回っています。

▲観点「知識・技能」に課題が見られ、基礎的な問題ができていない状況です。

(2) 算数科



【考察】

▲6年生の算数の結果は、目標値を下回り、課題があるといえます。

◎「単位量あたりの大きさ」の問題では、速さの単位を理解し、時速を秒速や分速に直すことができています。

▲特に「割合」「小数の計算」の正答率が低く、課題が見られます。

○課題の見られた学習内容については、学び直しを行ったり、授業の中で類似問題を取り扱ったりするなど、基礎・基本の定着に向けた取組を行います。

○学習内容や児童の実態に応じて、習熟度別学習やICT機器を有効活用した学習を取り入れ児童一人一人の学力がより定着するよう指導方法を工夫していきます。

※レーダーチャート図は、各カテゴリー別における正答率の全国との比較（全国平均を50とした場合の標準スコアで比較）です。